Ⅱ.
将来像と基本方策

まちづくりの将来像

「出雲力」で　夢☆未来へつなげ
誰もが笑顔になれるまち

「出雲力」で
夢や希望を持ち活躍できるまち
未来へつづく持続可能なまち
多様性を尊重し、誰一人取り残さず共に生きるまち
誰にも”ぴったり”な暮らしやすいまち
出雲を訪れる人たちが何度も来たいと思うまち
誰もが自然と笑顔になれるまちを
めざします。

将来像を実現するための6つの基本方策

６つの基本方策と 27 のまちづくりの施策

～横断的な視点によるまちづくり～

本市の将来像『「出雲力」で 夢☆未来へつなげ 誰もが笑顔になれるまち』の実現に向けて、「誰もが活躍する」「地域の魅力を生かした」「持続可能なまちづくり」の取組を進めていく必要があります。

そのために、市民の日常生活の場面やライフステージを意識した横断的な視点で、誰もが笑顔になれるまちの実現に向けた、次の６つの基本方策（柱）と目標を定めます。各基本方策の目標は、今後８年間でチャレンジする数値目標を掲げます。

また、SDGｓ（持続可能な開発目標）への取組を意識した視点も持ち、施策を推進します。

〔６つの基本方策〕

ともに創る
新たな価値と働く場を創造する

ともに守る
ふるさと出雲の環境を守るとともに、災害に備える

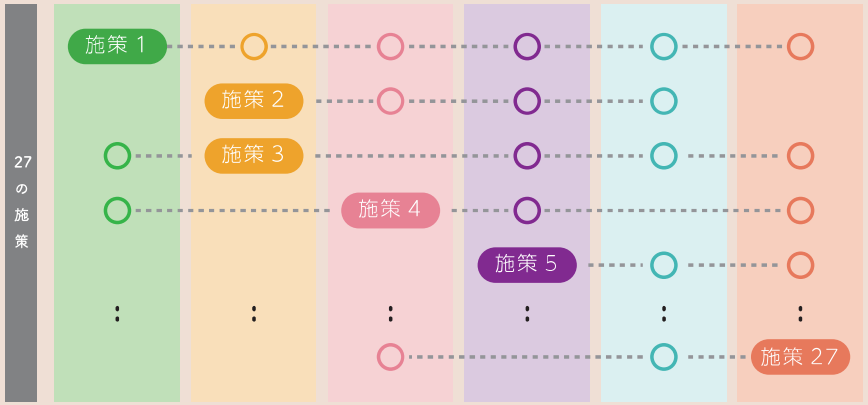
ともに結ぶ
あらゆる縁を結び、交流を促進する

ともに支える
生活基盤を整え、日々の暮らしを支える

ともに育む
次世代を担う子どもたちや地域を支える人を守り育てる

ともに楽しむ
誰もが住んで楽しく訪れて楽しい出雲をめざす

まちづくりの各施策（取組）については、６つの基本方策を横断的に捉え、全部で２７項目の施策で構成し、推進します。



＜施策体系図の見方＞
◇施策体系図は、右図の表で示します。
◇まちづくり施策（取組）の右欄の★は、「出雲市まち・ひと・しごと創生第２期総合戦略」（計画期間：令和２年度（2020）～令和６年度（2024））にも記載されている、整合性を図る施策です。
◇まちづくりの施策（取組）について、横断的に取り組む基本方策に丸印（○）をつけ、その中で主要な取組に塗りつぶしの丸印（●）をつけています。
◇まちづくりの施策（取組）は、塗りつぶしの丸印（●）に該当する基本方策に、その基本的方向を記載しています。

例：01　海・山・大地の恵みを生かす　⇒基本方策「ともに創る」に●⇒　「ともに創る」に基本的方向を記載）

〔施策体系図〕

		まちづくりの施策（取組）		ともに創る	ともに守る	ともに結ぶ	ともに支える	ともに育む	ともに楽しむ
施策名	01	海・山・大地の恵みを生かす	★	●	○	○	○	○	○
	02	“出雲”の「ブランド力」で価値を高める	★	●		○		○	○
	03	地場企業が地域を支える	★	●		○	○	○	
	04	多種多様な企業立地を	★	●		○			
	05	「人財力」で地域産業を“前へ”	★	●		○		○	
	06	誰もが「安全・安心」に暮らせるまちに	★		●	○	○	○	
	07	未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジ		○	●		○	○	○
	08	期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲	★	○		●	○		○
	09	「住みたい」、「住み続けたい」の縁結び	★			●	○		○
	10	ヒト、モノ、コトを短時間でつなぐ	★	○	○	●	○		○
	11	あのまち・このまち　出雲を結ぶ	★	○		●		○	○
	12	いにしえの「財（たから）」を守り、活かす			○	●		○	○
	13	「産みたい」「育てたい」を応援	★				●	○	○
	14	ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を	★	○			●	○	
	15	いつまでも元気、ずっと現役で	★	○			●	○	○
	16	誰もが大切にされる社会をめざして	★	○	○	○	●	○	○
	17	ぬくもりのある福祉サービスを			○		●	○	○
	18	地域特性を生かして安心な医療を			○		●		
	19	地域とともに持続可能な中山間地域を	★	○	○	○	●	○	○
	20	出雲のインフラを整え「安心」を支える			○	○	●	○	
	21	デジタルの力で未来をデザイン		○	○	○	●	○	○
	22	家庭・地域・学校で育む出雲の教育を	★				○	●	○
	23	人が地域を、地域が人を育てる	★			○	○	●	○
	24	芸術文化で豊かな出雲を				○	○	○	●
	25	スポーツで元気な出雲を				○	○	○	●
	26	誰もの「学びたい」を実現					○	○	●
	27	出雲の魅力、発信します	★			○		○	●

※★は、「出雲市まち・ひと・しごと創生第２期総合戦略」に記載